

令和4年度

事業計画

社会福祉法人
西予総合福祉会



～地域と共に50年 そして未来へ～

50th
anniversary

I. 基本理念・信念【コア・バリュー】

老人に生きがいを

障がい者には希望を

子どもには大きな夢を

多様化していく社会の要請に応じ、総合的多角的な福祉サービスを展開し、心豊かな地域社会づくりを推進する。

II. 使命・目的【ミッション】

1. 地域で「その人らしく」生活できるように総合的な福祉サービスを提供する。
2. 個人の尊厳を守り、高い人権意識を持つ福祉人財を創出・育成する。
3. やさしさと温かさあふれる地域づくりに貢献する。

III. 目標・夢・希望【ビジョン】

1. 利用者満足のために
 - ・地域で信頼され続ける組織
 - ・福祉サービスをワンストップで提供できる組織
 - ・地域ニーズやライフステージの変化に応えられる組織
 - ・安心して暮らせる地域づくり
2. 職員満足のために
 - ・安心して働き続けられる職場環境
 - ・働く誇りが持てる組織
 - ・能力・技術を向上し、成長できる組織
 - ・一人一人が活躍できる組織
 - ・風通しがよい組織
 - ・公平で納得度の高い人事考課

3. 経営満足のために

- ・健全経営（事業として赤字を出さない）
- ・時代の変化を見極めながら、成長し続ける組織
- ・一人一人が基本理念を理解し実践している職場
- ・よい人材が集まる組織
- ・人が育つ職場環境と仕組み

IV. 重点目標

1. 地域オンリーワン

（1）基本理念・M D C V S の法人内への浸透化

- ・利用者の人権を尊重し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・M D C V S を理解し施設運営に反映させる。

（2）地域におけるブランドイメージの向上

- ・法人創立50周年の節目にあたり「地域と共に50年そして未来へ」のキャッチフレーズのもと、更なる地域福祉の向上に寄与する法人を目指す。
- ・ボランティアの受入れや介護教室の開催を通して、地域住民の福祉に対する理解を促進し、福祉の仕事の啓発を行う。
- ・災害時、感染拡大時の事業継続計画（BCP）及び防災（感染症）危機管理対応マニュアルの定期的な見直しを行い実効性のあるものにする。
- ・ホームページや広報等を活用し積極的な情報発信を行い「見える化」「見せる化」に努める。

2. 利用者と家族の幸せ

（1）ワンストップで提供できる福祉サービスの構築

- ・地域における福祉の総合相談窓口として、多様な相談に応じ、また適切な機関につなぐ機能を整備する。
- ・地域における公益的な取組として、低所得者等に配慮した法人後見事業が実施できる体制を整える。

（2）福祉ニーズやライフステージの変化に応えられる利用者満足度の更なる向上

- ・利用者やその家族等の声がサービスの改善に活かせる仕組みや満足度を把握するための仕組みを整える。
- ・地域共生社会の実現に向けて、地域で法人が果たすことのできる機能（役割）を模索し実践できる体制を整える。

3. サービスの質の向上と標準化

（1）サービスの「質」及び「標準化」の充実

- ・専門知識の習得、技術の向上のために、体系的な研修プログラムを策定し運用していく。
- ・サービス提供についての手順書（マニュアル）の定期的な見直しを行いサービスの標準化を図る。

4. 職員の充実

（1）福祉人財の確保・育成

- ・法人をとりまく内部環境や外部環境を把握し、将来を見据えた採用計画を策定する。
- ・高齢者、障害者、外国人などの多様な人材が活躍できるよう労働環境を整える。
- ・福祉の仕事への関心を深めるため、小中高校での福祉体験学習や施設見学の受入れなど福祉教育に積極的に取り組む。

（2）働きやすい職場環境の整備による定着化の推進

- ・雇用時間や賃金形態を工夫し、多様な働き方ができる仕組みを整える。
- ・職員相互の融和親睦を図るため職員交流事業やサークル活動の充実に努める。
- ・公平・公正な人事制度、評価制度として定期的な見直しを行い制度の定着化を図る。

5. 財務の健全化

（1）事業所単位での経営の安定化

- ・事務管理部門を事務局に集約したことの検証を行い、期待通りの効果が得られるよう調整を行う。
- ・ペーパーレスの取り組みを推進すると共にロボットやＩＣＴを活用した業務の効

率化に努める。

(2) 事業資金計画の立案

- ・各施設をとりまく環境を把握し、将来を見据えた施設整備、設備整備計画を改めて策定する。
- ・財務指標にもとづく経営分析等により、法人全体および各施設の経営状況を適切に把握する。

V. 数値目標

- (1) 定年退職者を除く正職員の離職率を5%以下とする。
- (2) 労災保険対象事故の発生件数を前年度対比30%削減させる。
- (3) 事業活動資金収支差額を前年度対比3%増加させる。
- (4) 一人当たりの時間外労働を月平均5時間以下とする。
- (5) 法人が指定する資格の取得者を15人以上とする。
- (6) ストレスチェック組織分析結果の健康リスクを100以下とする。
- (7) ホームページ閲覧数を前年度対比20%増加させる。
- (8) 障がい者雇用率について法定雇用率(2.3%)以上を維持する。

VI. 会議の開催予定

- | | |
|-----------------|--------------------|
| (1) 理事会 | (3ヶ月に1回以上) |
| (2) 法人幹部会 | (毎月及び必要がある場合はその都度) |
| (3) 施設長会 | (毎月及び必要がある場合はその都度) |
| (4) 評議員会 | (6月及び必要がある場合はその都度) |
| (5) 運営協議会 | (6月及び必要がある場合はその都度) |
| (6) 監事監査会 | (必要がある場合はその都度) |
| (7) 会計監査人監査会 | (必要がある場合はその都度) |
| (8) 評議員選任・解任委員会 | (必要がある場合はその都度) |

【各事業部及び施設別事業計画は別紙のとおり】

令和4年度 老人事業部重点目標

1. 地域オンリーワン

(1) 基本理念・MDCVSの事業部内への浸透化

- ・高齢者の人権尊重を第一とし、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。

(2) 地域におけるブランドイメージの向上

- ・法人設立50周年の節目にあたり、「地域と共に50年そして未来へ」のキャッチフレーズのもと、更なる地域福祉の向上となる事業を検討する。
- ・ボランティアの受け入れや介護教室の開催を通して、地域住民に介護事業の更なる理解、促進につなげる。
- ・災害時、感染症拡大時の事業継続計画（BCP）や防災（感染症）・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、災害時の拠点づくりを目指す。

2. 利用者と家族の幸せ

(1) ワンストップで提供できる福祉サービスの構築

- ・高齢者や認知症の方への支援やアドバイスなど相談しやすい場所としてネットワークを構築し、様々なニーズに対応する。

(2) 福祉ニーズやライフステージの変化に応えられる利用者満足度の更なる向上

- ・地域共生社会の実現に向けて、地域で果たすことのできる機能（役割）を模索し実践できる体制を整える。

3. サービスの質の向上と標準化

(1) サービスの「質」及び「標準化」の充実

- ・利用者への接遇、職員の専門知識の習得、介護技術の向上のために、OJT委員を中心に研修計画を策定し実践する。

4. 職員の充実

(1) 福祉人財の確保・育成

- ・高齢者、障がい者、外国人などの多様な人材が活躍できるよう労働環境を整える。その中でも外国人が働きやすい環境を整える。
- ・介護教室や業界団体の活動により、高齢者施設で働くことの魅力をより多くの人に知っていただき、人材確保・育成につなげる。

(2) 働きやすい職場環境の整備による定着化の推進

- ・人事制度の定着により、働きがいの向上を図る。また職員が働きやすい環境づくりのため、時間外労働の削減、メンタルヘルス対策を行う。
- ・引き続き、職員の有給休暇を5日以上取得する。

5. 財務の健全化

(1) 事業所単位での経営の安定化

- ・介護保険制度改正について情報を収集し、取得可能な加算等、必要な体制を整え、経営の安定化を図る。また、適正な人員配置やコスト削減に努める。
- ・食事の提供について、委託業者での現場調理方式が岐路に立たされており、経営の安定と利用者満足を両立できる方式を研究していく。

(2) 事業資金計画の立案

- ・将来を見据えた施設整備、設備整備計画、事業のあり方等を研究する。また、経営分析を行い、経営状況を把握する。

令和4年度 養護・障がい事業部重点目標

1. 地域オンリーワン

- (1) 基本理念・MDCVSの事業部内への浸透化
 - ・子どもや障がいのある方の人権尊重を第一とし、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。
- (2) 地域におけるブランドイメージの向上
 - ・ボランティアや実習生等を積極的に受け入れ、社会的養護の必要な子ども達や障がいのある方々への理解、促進につなげる。
 - ・災害時、感染拡大時の事業継続計画（BCP）や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行う。
 - ・ホームページや広報紙等を利用して情報発信及び情報公開を行い、地域の中の施設として広く知ってもらう。

2. 利用者と家族の幸せ

- (1) ワンストップで提供できる福祉サービスの構築
 - ・子育て支援や障がいのある方々の支援へのアドバイスなど相談しやすい場所としてネットワークを構築し、様々なニーズに対応する。
- (2) 福祉ニーズやライフステージの変化に応えられる利用者満足度の更なる向上
 - ・地域共生社会の実現に向けて、地域で果たすことのできる機能（役割）を模索し実践できる体制を整える。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) サービスの「質」及び「標準化」の充実
 - ・専門知識の習得、技術の向上のために、OJT委員会を中心に研修計画を策定し実践する。

4. 職員の充実

- (1) 福祉人財の確保・育成
 - ・養護施設や障がい施設で働くことの魅力をより多くの人に知っていただく活動を行い、人材確保・育成につなげる。
- (2) 働きやすい職場環境の整備による職員定着化の推進
 - ・人事制度の定着を図りモチベーションアップのための働きかけを行うとともに、職員同士が意見交換し合うことで主体的に働ける環境づくりを推進する。また、時間外労働の削減や有給休暇取得率の向上、メンタルヘルス対策を行う。

5. 財務の健全化

- (1) 事業所単位での経営の安定化
 - ・制度や法律を熟知し必要な体制を整え利用者満足につなげることで、経営の安定化を図る。また、適正な人員配置やコスト削減に努める。
- (2) 事業資金計画の立案
 - ・将来を見据えた施設整備、設備整備計画を策定する。また、経営分析を行い、経営状況を把握する。

令和4年度 児童事業部重点目標

1. 地域オンリーワン

(1) 基本理念・MDCVSの事業所内への浸透化

- ・子どもの最善の利益を考慮し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。

(2) 地域におけるブランドイメージの向上

- ・法人の基本理念・各園の保育理念のもと、園児や保護者との信頼関係を築き安心・安全な環境の確立と地域の福祉サービスの拠点となるように努める。
- ・災害や感染症拡大等に備え、事業継続計画や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、地域とつながり支え合うネットワーク作りに努める。
- ・ホームページ等を利用し、情報発信を積極的におこない、保護者、地域の方の園への理解度を高めていく。
- ・法人設立50周年の節目にあたり「地域と共に50年そして未来へ」のもと、更なる地域福祉の向上に寄与していく。

2. 利用者と家族の幸せ

(1) ワンストップで提供できる福祉サービスの構築

- ・地域における子育て支援の窓口として、関係機関と連携を取りながら地域に密着したサービスの提供ができるようにする。

(2) 福祉ニーズやライフステージの変化に応えられる利用者満足度の更なる向上

- ・保護者アンケートを活かし、保育サービスの維持・向上及び安心・安全な保育環境を提供する。
- ・「安全を考える日」の浸透とリスクマネジメントを継続する。

3. サービスの質の向上と標準化

(1) サービスの「質」及び「標準化」の充実

- ・定期的なマニュアルの見直しをおこない、サービスの標準化を図る。
- ・専門研修会や、全国規模の研修会の参加を推進し、個別のスキルアップを図り、全体的な底上げへとつなげる。

4. 職員の充実

(1) 福祉人材の確保・育成

- ・時間外労働の削減と、有給休暇の取得率の向上ができる体制を構築し魅力ある職場環境をつくり、人材確保につなげる。また、OJT委員会を中心に現場での職員の育成に努める。

(2) 働きやすい職場環境の整備による定着化の推進

- ・相談しやすい、風通しの良い職場環境づくりに努め、職員一人一人のメンタルヘルス対策に努める。

5. 財務の健全性

(1) 事業所単位での経営の安定化

- ・地域の出生状況や保護者・地域のニーズを把握し、事業内容等に反映させていくと共に、安定した経営に努める。

(2) 事業資金計画の立案

- ・将来を見据えた施設整備や設備整備計画を策定し、適切な園の環境を維持していくよう努める

施設名：宇和町特別養護老人ホーム松葉寮

【施設理念】

- ・誰もが利用したくなる施設づくり

【経営方針】

- ・施設理念に基づき、常に相手の立場に立ち、利用者お一人お一人を大切にします。
- ・松葉寮での仕事に誇りと愛情が持てる職員を育成し、職員同士が認めあえる関係を醸成します。
- ・各事業所の利用率・利用者数向上に努め、安定した経営に努めます。

【事業計画】

- 地域オンリーワン
 - （１）利用者の人権尊重を第一とし、全職員に基本理念やMDCVSを浸透いたします。
 - （２）災害時の事業継続計画や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、福祉避難所の受け入れを含め、災害時の拠点づくりを目指します。
- 利用者と家族の幸せ
 - （１）入所申し込みなどで施設に来られた方に対し、高齢者や認知症の方への支援やアドバイスをを行い、相談しやすい場所として様々なニーズに対応します。
- サービスの質の向上と標準化
 - （１）松葉寮職員としての自覚を持ち、向上心を高めて利用者への接遇や介護技術・知識の習得に努めます。施設長を推進役とし、OJTを実践します。
 - （２）「ノーリフティングケア」についての理念を全職員に浸透し、引き続き取り組んで参ります。
- 職員の充実
 - （１）EPA介護福祉士候補生、技能実習生のやりがいの向上に努めると共に、高齢者や障がい者など、多様な人材が活躍できる労働環境を整えます。
 - （２）職員が働きやすい環境づくりのため、ICT、介護ロボットの更なる導入など業務の見直しを図ります。
 - （３）引き続き、職員の有給休暇を５日以上取得いたします。
- 財務の健全性
 - （１）介護保険制度や各事業に関連する加算等を熟知し、必要な体制を整え利用者満足につなげることで、経営の安定化を図ります。
 - （２）職員の適正配置の確認や支出の削減により、健全な経営を目指します。
 - （３）利用者への食事について、様々な提供形態の情報収集を行い、今後のあり方について検討を行います。

【数値指数】

		松葉寮			かえで
		地域密着	広域	短期入所	認知症通所
利用者定員		19名	56名	20名	12名
1日の平均利用者数		18.5名	53名	17名	5名
稼働率		97.3%	94.6%	85.0%	41.6%
総収入（千円）		102,079	239,306	70,800	12,563
職員数	正職員	9名	31名	9名	2名
	パート	1名	21名	2名	1名

施設名 : 開明の杜

【施設理念】

- ・一人ひとりの思いを暮らしに映す。

【経営方針】

- ・事業・経営管理の強化
- ・地域社会との協働と地域福祉の貢献
- ・感染症対策の強化・災害発生時の地域との連携した対応の強化
- ・介護人材確保のための働きやすい職場環境づくり・育成と業務の円滑化を図る
- ・リスク担当者を中心としたリスクマネジメントの徹底及び、心身機能の維持に係る改善の推進
- ・虐待防止（身体拘束廃止含む）への取り組み・苦情解決策の強化・推進
- ・施設設備・環境整備

【事業計画】

1. 地域オンリーワン
 - 専門知識を活かした、地域に開かれた施設づくり。
 - ・コロナ禍でも、入居者の生活の質を落とさない工夫と実現。
 - ・各団体・事業者等と連携を図り、地域における役割を發揮する。
 - ・BCPや各防災計画の見直しを行うとともに、福祉避難所としての備えを行う。
 - ・ホームページ等を通じた情報発信。
2. 利用者と家族の幸せ
 - 利用者（入所者・在宅）及び、その家族の思いに寄り添う。
 - ・新型コロナウイルス感染状況に合わせた対策を講じたうえでの面会・情報提供を行う。
 - ・コロナ禍の中でも可能な限り、日々の生活への刺激となるような行事の運営企画を行う。
 - ・利用者、家族が抱える悩みへの対応と、その解決に向けた連携を強化。
 - ・看取りケア等、様々なニーズに対応できる職員の育成。
3. サービスの質の向上と標準化
 - 専門職としての学びを充実し、社会的地位向上に向けた意識改革。
 - ・新型コロナウイルス感染症に関連する動向や情報に注視し、柔軟な対応を行う。
 - ・各種訓練・研修を実施し、機能を最大限活かし安全確保と安定運営に繋ぐ。
 - ・良質なケアを提供するために、職員の専門知識の向上と習得、OJT研修の充実に努める。
 - ・ノーリフティングケアの導入推進を継続し、双方に安心安全な介護に努める。
 - ・「積極的な看取りケアへの取り組み」を、関係者が共通した意識でケアを行う。
 - ・ホームページの見直しと、有効活用を検討し広報戦略を確立。
 - ・介護報酬改定においても予定されているICTを含む、テクノロジー活用を検討推進。
4. 職員の充実
 - 生産性向上と、やりがいの追求。
 - ・働きやすい職場環境づくりに必要な業務改善を行うとともに、組織活性化に繋げる。
 - ・労働衛生管理の下、腰痛予防、服装、5S、福祉用具などを用い負担軽減を行う。
 - ・外部研修への積極的な参加と振り返りを行い、職員の資質向上を図る。
 - ・各委員会による研修会や勉強会等の開催で、職員自らが学び向上を目指すことの推進。
 - ・外国人技能実習制度の運用に向け、マニュアルの見直しなど受入れ準備を行う。
5. 財務の健全性
 - 稼働率の向上及び増収
 - ・常に入所優先順位を確定し、空床発生前からの取組を行うことで空床期間の短縮を図る。
 - ・誤嚥性肺炎予防など、入院の原因分析等を看護、介護、協力医療機関及び協力歯科医院と行う。
 - ・加算の見直し及び、新規加算の算定を行い、増収を図る。

【数値指数】

	開明の杜	短期入所	訪問介護	居宅介護支援
利用定員	29名	10名	要介護 20名／月	180名（介護）
				48名（予防）
1日の平均利用者数	28名	9名	総合 25名／月	170名／月（介護）
			障がい 2名／月	40名／月（予防）
稼働率	96.5%	90.0%	—	—
総収入（千円）	151,722	43,688	15,792	35,631
職員数	正職員	18名	4名	2名
	パート	12名	2名	2名

施設名： 皆楽園

【施設理念】

- ・皆楽園に住んでよかった、皆楽園を利用したいと言える施設づくり

【経営方針】

- ・利用者のこれまで生きてこられた環境を基本にしつつ、お一人お一人にあった希望を大切に、常に相手の立場にたったサービスを提供する。
- ・家族や地域とのふれあいを密に生きがいの感じられる《普通の暮らし》を目指す。
- ・法人設立50周年の節目にあたり、皆楽園職員としての自覚を持ち、常に向上心をもって技能・知識の習得に努める。
- ・利用者の人権を尊重し、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことが出来るよう支援する。
- ・稼働率の向上やコスト削減に努めることで経営の効率化を図り、健全経営を維持推進する。

【事業計画】

○皆楽園（短期入所を含む）

1. 地域オンリーワン
 - (1) 福祉避難所として役割を果たす為の訓練、研修
 - (2) 感染症を初め、各種の災害に対応出来る定期的な訓練実施
 - (3) 危機管理対応マニュアルと事業継続計画（BCP）の定期的な見直し
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) 質を高める為の研修会（ノーリフティングケア）への参加及び家族への情報提供
 - (2) 看取りも含め、様々なニーズに対応できる専門的知識の獲得
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) 地域のニーズを把握し、施設としての役割や社福の責務を果たす活動推進
 - (2) 技術継承者の育成
 - (3) 言葉を変え、考えを変え、行動を変えることでプロの接遇を実践
4. 職員の充実
 - (1) 資格取得者支援
 - (2) 職員のメンタルヘルス対策
 - (3) 介護教室等の活動を通じて、高齢者施設への理解を深め、ボランティアや働く人材確保に努める。
 - (4) 業務の効率化を計り、負担軽減と時間外労働の削減を行う。
 - (5) 外国人技能実習生の継続的雇用と定着化
5. 財務の健全化
 - (1) 稼働率のアップ 1) 利用者の体調管理 2) 利用しやすい施設 3) 待機者の把握
 - (2) 経営状態の把握を行い、無駄な経費削減に努める。

○デイサービスセンター皆楽園

1. 地域オンリーワン
 - (1) 福祉避難所として役割を果たす為の訓練、研修
 - (2) 感染症を初め、各種の災害に対応出来る定期的な避難訓練実施
 - (3) 危機管理対応マニュアルと事業継続計画（BCP）の定期的な見直し
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) 質を高める為の研修会（ノーリフティングケア）への参加及び家族への情報提供
 - (2) 自宅での自立した生活が維持出来るよう支援し、家族の負担軽減を図る。
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) 地域に必要なニーズを洗いだし、施設としての役割や社福の責務を果たす活動推進
 - (2) 技術継承者の育成
 - (3) 言葉を変え、考えを変え、行動を変えることでプロの接遇を実践
4. 職員の充実
 - (1) 資格取得者支援
 - (2) 職員のメンタルヘルス対策
 - (3) 業務の効率化を計り、負担軽減と時間外労働の削減を行う。
5. 財務の健全化
 - (1) 利用しやすい施設、ニーズに応える施設を目指し、稼働率アップに繋げる。
 - (2) 経営状態の把握を行い、無駄な経費削減に努める。

【数値指標】

		デイサービス	皆楽園	
			老人ホーム	短期入所
利用者定員		18名	50名	10名
1日平均利用者数		13.4名	49.3名	6.9名
稼働率		74.4%	98.6%	69.0%
総収入（千円）		41,004	249,556	32,875
職員数	正職員	6名	32名	5名
	パート	2名	7名	2名

施設名： 特別養護老人ホームあけはま荘
ケアハウスはまゆう

【施設理念】

- ・“敬う” ところと “見つめなおす” ところ
- ・ご利用者の尊厳を保持し安心安全な生活の提供と、愛され、信頼される施設づくりを目指すため、他者を敬い、自らを見つめなおす努力を続けます。

【経営方針】

- ・利用者お一人お一人のニーズに対応できる質の高いサービスを提供いたします。
- ・職員が働きやすい職場を醸成し、働きがいの向上を目指します。
- ・社会福祉法人として地域における公益的取り組みを実践します。

【事業計画】

- 地域オンリーワン
 - 専門知識を活かした活動（介護の勉強会・教室等）を外部で開催します。
 - 利用者の安全を守る取り組みを実施します（感染症・防災・BCP計画の見直し・訓練）
 - 法人HPでの定期的な情報発信に努め広く施設をPRします。
- 利用者と家族の幸せ
 - 最後まで豊かな人生となるよう看取り介護の更なる充実を行います。
 - 地域ニーズの掘り起しを行います。
 - 地域にある、困難事例等に積極的な関わりが持てるよう関係機関との連携を図ります。
- サービスの質の向上と標準化
 - 利用者、職員の負担軽減となるよう、ノーリフティングケアに向け職員の研修を行います。
 - ICTの充実を図るためプロジェクトを組み研究を重ね業務の効率化を目指します。
- 職員の充実
 - 働きやすい職場環境となるよう、勤務時間、勤務形態、ロボットやICTの導入等、柔軟に対応して行きます。
 - 技能実習生のスキルアップや資格取得を目指した支援を展開します。
 - 高齢者及び障がい者の雇用の継続を行います。
- 財務の健全性
 - 健康管理に努め、入院を減らし稼働率の安定を図ります。また、空床利用について、利用者ニーズに合わせて、短期入所の受け入れを積極的行います。
 - 地元ニーズ人口等を踏まえ、施設規模、建替えについて方向が示せるよう調査研究を行います。
 - 食事提供について、情報収集を行い、委託、調理済み食材等を検証します。
 - ハード面の修繕や更新等は、施設建替えを念頭に有効性を検討し実施します。

【数値指数】

		特養	短期	明浜デイ	ケアハウスはまゆう	
				通所介護	特定	一般
利用者定員		85名	5名	18名	30名	
1日平均利用者数		83名	4.3名	14名	29.7名	
稼働率		97.6%	86.0%	77.7%	99.0%	
総収入（千円）		374,908	19,776	48,309	70,491	
職員数	正職員	52名	3名	6名	5名	
	パート	16名	—	3名	6名	

施設名： 宇和デイサービスグループ

【施設理念】

- ・在宅生活を継続する住民（利用者・家族）の心強いサポーターであらう！

【経営方針】

- 福祉の里・ななほし中川・うつのみやさんの家・あんしんの家・陽より・リハビリ専門デイサービス
- ・個人の尊厳を守り、高い人権意識を持つ福祉人材を創設・育成します。
 - ・法人が推進する「ワンストップ構想」の早期実現のため担当との連携力を深め積極的な情報発信に努めます。
 - ・在宅生活継続支援施設として安心を提供し地域で最も「求められる施設」を目指します。
 - ・利他の考えで日々の運営に努めます。
 - ・リハビリを希望される利用者や家族の要望に寄り添う援助を行います。
 - ・認知症への理解を深め利用者、家族の要望に寄り添う施設にします。
 - ・離職者「0」を目指します。
 - ・満面の笑顔での支援を目指します。
 - ・法人設立50周年の節目にあたり、「地域と共に50年そして未来へ」のキャッチフレーズのもと、更なる地域福祉の向上に寄与する法人を目指します。
 - ・災害時、感染拡大時の事業計画（BCP）及び防災（感染症）危機管理対応マニュアルの定期的な見直しを行い実効性のあるものにします。

【事業計画】

1. 宇和デイグループ合同職員会の充実を図ります。グループ事業所相互の連携力でグループに新規利用相談は100%受入を目指します。
2. 研修会や勉強会を実施することで、職員のスキルアップを行います。また、居宅介護支援事業所との連携会議を開催します。
3. 内部研修の充実を図り介護力・人間力を向上させます。
4. 各事業所管理者で構成する運営委員会を毎月し情報共有に努め応援体制の早期確立を目指し、働きやすい環境整備に努めます。
5. 運営委員会及び合同職員会において基本的な財務諸表の見方等勉強し経営感覚を身につけます。

【数値指数】

		福祉の里 デイサービス		あんしんの家		ななほし中川	
				通所	短期	通所	短期
利用定員		45名		14名	4名	14名	5名
1日平均利用者数		33名		10.4名	3.3名	10.3名	3.7名
稼働率		73.3%		74.2%	82.5%	73.5%	74.0%
総収入（千円）		108,449		48,329		44,316	
職員数	正職員	14名		7名		6名	
	パート	8名		2名		3名	
		うつのみや さんの家	陽より	リハビリ専門 デイサービス歩		リハビリ訪問 看護ステーション歩	
利用定員		9名	15名	AM20名・PM20名		85名	
1日平均利用者数		9名	11名	34名（1単位17）		26名	
稼働率		100%	73.3%	85.0%		—	
総収入（千円）		37,577	6,422	41,368		20,349	
職員数	正職員	5名	1名	6名		4名	
	パート	2名	1名	4名		—	

施設名： ケアハウスれんげ

【施設理念】

- ・思いやりの心を大切にし、心豊かな生活と尊厳をもった生活を支援する。

【経営方針】

- ・施設理念に基づき、常に利用者お一人お一人の立場に立った支援を行う。
- ・職員の自己研鑽による専門性の向上を図るとともに、自ら進んで取り組む行動力を醸成する。
- ・常にコスト意識を持つとともに、事業の効率化を図り健全経営に努める。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

- (1) 人権尊重を第一としたうえで、常に利用者本位の支援を行う。
- (2) 災害時、感染拡大時の事業継続計画や防災・危機管理対応マニュアルの実効性を確保する。

2. 利用者と家族の幸せ

- (1) 利用者のご意見や思いを大切にし、満足度のさらなる向上を目指す。
- (2) 家族への情報提供を密にし、かかわりを深めることにより安心感を高める。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) 職員としての自覚を持ち、向上心を高めて利用者への接遇や介護技術・知識の習得に努める。
- (2) 認知症に関する研修会に積極的に参加し、認知症ケアの充実を図る。
- (3) 今できることを存続できるよう具体的支援計画に基づき、自立支援の充実を図る。
- (4) 専門職としての知識・技術の向上を図るため研修会へ積極的に参加する。
- (5) 感染症に対する知識を深め感染防止に努める。

4. 職員の充実

- (1) 職員が働きやすい環境づくりのため、ICTの更なる活用など業務の見直しを図る。
- (2) 職員がリフレッシュできるよう有給休暇を5日以上取得する。
- (3) 職員が相談しやすい雰囲気、良い関係を築きメンタルヘルスの向上に努める。

5. 財務の健全性

- (1) 介護保険制度を熟知し必要な体制を整え利用者満足につなげるとともに、関連する介護報酬加算の確保に努める。
- (2) 利用者の健康管理やリスク管理に努め、入院を防ぐことにより稼働率の安定化を図る。
- (3) 施設設備の適切な管理による耐用年数延伸を図るとともに、無駄を省き、経費削減に努める。

【数値指数】

		特定	一般
利用者定員		30名	
1日平均利用者数		29.6名	
稼働率		98.7%	
総収入(千円)		66,964	
職員数	正職員	6名	
	パート	6名	

施設名：三楽園

【施設理念】

- ・心安らぐ生活の場を提供し、ご家族及び地域より信頼される施設を目指します。

【経営方針】

- ・利用者の人権・尊厳を重んじ、生きがいを大切にして自分らしい生活が送れるよう支援します。
- ・利用者お一人お一人が安心して生活できる環境を整えます。
- ・様々な形での社会交流・参加を積極的に行い、地域に開かれた施設を目指します。
- ・福祉職としての誇りと向上心を持ち、自己研鑽に努めます。
- ・職員のモチベーション向上に繋がるよう、労働環境の整備に努めます。
- ・健全経営に向け、稼働率の維持ならびに経営努力を行います。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン
 - (1) 法人創立50周年の節目にあたり「地域と共に50年そして未来へ」のキャッチフレーズのもと、更なる地域福祉の向上に努めます。
 - (2) 地域との交流を図り、介護教室、介護相談等の開催を通じて必要とされる施設を目指します。
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) 利用者、家族が抱える悩みに耳を傾け、その解決のために関係機関との連携を図り最善の対応に努めます。
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) コロナ禍の中で、Web・オンライン等を利用して外部研修にも参加し、情報収集を行い、共有化を図ります。
 - (2) 「利用者満足」「職員満足」を追求し、多様化する利用者ニーズを把握し、生き生きとした意欲あふれる環境づくりに努めます。
4. 職員の充実
 - (1) 職員一人ひとりの声がしっかりと反映される風通しのよい職場環境づくりに努めます。
 - (2) ライフワークのバランスを考え、休みが取れやすい環境に努めます。
 - (3) 職員が将来的な目標を持つことができるように、研修会への参加への促進に努めます。
5. 財務の健全化
 - (1) 入退所の円滑な対応に努め、稼働率の安定を図ります。
 - (2) 経費削減に努めます。

【数値指数】

		三楽園
利用者定員		50名
1日平均利用者数		47.7名
稼働率		95.4%
総収入(千円)		129,161
職員数	正職員	15名
	パート	10名

施設名 : 松葉学園

【施設理念】

- ・共に考え共に生きる ―その人らしく、ありのままに―

【経営方針】

- ・地域の中で誰もが安心して暮らせるよう、子どもから大人まで一人ひとりのニーズに対応し、総合的に障がい福祉サービスを展開する。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

- 利用者一人ひとりの人権を尊重し、地域に開かれた施設づくりをめざす
 - ・コロナ禍の中でも利用者の方の思いを実現できるよう工夫して取り組む。
 - ・実習生やボランティアを状況に応じて受け入れる。
 - ・事業継続計画や防災関係マニュアルの見直しを行う。
 - ・ホームページ、広報誌、SNS等を通じて情報を発信し、たくさんの人に知ってもらう。

2. 利用者と家族の幸せ

- 入所及び在宅利用者へのサービスの充実
 - ・生活介護や余暇活動等、コロナ禍でも楽しめる活動、できる活動を増やす。
 - ・快適な暮らしや日々の活動のための施設環境づくりを行う。
 - ・利用者の高齢化対策を検討する。
 - ・短期入所利用者の受け入れを行い支援の充実を図る。
 - ・地域共生型交流拠点施設なごみかんの利用者拡大をめざし、より地域へ浸透するよう働きかける。
 - ・グループホームの在り方や定員について検討する。

3. サービスの質の向上と標準化

- 支援の質の向上：5つの実践力（受容・寄り添い・笑顔・意見・挑戦）を養う。
 - ・OJTを中心とした人材育成に取り組む。
 - ・オンライン研修やWeb会議等で研修会へ参加し実践に役立てる。
 - ・自己評価の実施を検討する。
 - ・サービス管理責任者更新研修を受講する。（2名程度）。

4. 職員の充実

- 職員一人ひとりが自分の役割を自覚し、得意分野を施設の機能として生かせる職員体制づくり
 - ・自信ややりがいとなるよう支援力を強化する。
 - ・結果を出すのは自分達という誇りを持って取り組める職員を育成する。
 - ・様々な働き方を認め合えるチームづくりを行う。
 - ・資格取得を奨励する。
 - ・委員会等の定着と内容の充実を図る。

5. 財務の健全性

- ・適正な人員配置と加算の見直しや検討を行う。
- ・障がい児通所支援事業の経営状況を把握し、児童発達支援、放課後等デイ、保育所等訪問の取り組み方を検討し運営する。
- ・ICTを活用し業務の効率化を図る。
- ・障害者支援施設松葉学園の指定更新を行う。
- ・パーラーりぷとんの耐震工事及び移転について検討する。

【数値指数】

		松葉学園			夢の家	いっとき館	ぼのぼの		
		施設入所	生活介護	短期入所			児童発達	放課後等デイ	保育所等訪問
利用者定員		30名	47名	5名	41名	20名	20名		5名
1日平均利用者数		29名	45名	4名	38名	22名	4名	18名	0.5名
稼働率		96.6%	95.7%	80.0%	92.6%	110.0%	110.0%		10.0%
総収入(千円)		78,289	159,122	8,712	49,000	96,787	4,860	22,374	1,212
職員数	正職員	27名			5名	5名	5名		
	パート	27名			11名	15名	5名		

施設名：希望の森

【施設理念】

- ・一人ひとりの思いに寄り添い、自分らしい生き方を尊重します。

【経営方針】

- ・利用者一人ひとりのニーズに柔軟に対応し、これまで培ってきた信頼と専門性を福祉サービスという社会資源として提供し、地域と共に生きる福祉の拠点となることを目標とします。

【事業計画】

- 地域オンリーワン
 - 利用者一人ひとりの豊かな生活と安心・安全な暮らしを支え地域に愛され親しまれる施設づくり
 - (1) 利用者のプライバシーや人権を配慮した支援の実践
 - (2) 地域交流行事による社会貢献活動の継続
- 利用者と家族の幸せ
 - 入所及び在宅利用者へのサービスの充実
 - (1) 利用者が安心、安全に過ごせるための施設環境づくり（設備整備含む）
 - (2) 入所利用者の高齢化に伴う対策・検討
 - (3) 生活介護、短期入所、日中一時等、利用者の受入体制・支援の充実
 - (4) 地域リーダーとして専門性の高い相談支援
 - (5) 迅速・丁寧な相談支援の対応
 - (6) 法人後見制度への対応
- サービスの質の向上と標準化
 - (1) OJTを中心とした人材育成
 - (2) 研修会への参加（ZOOM等使用を含む）
- 職員の充実
 - 自分の持っている力を発揮し、チームとして取り組む姿勢をもつ職員体制づくり
 - (1) 自分の力を生かせる働きやすい職場環境づくり
 - (2) 資格取得の奨励
- 財務の健全化
 - (1) 適正な人員配置と加算の見直し・検討
 - (2) ペーパーレス化への取り組み
 - ・Wi-Fi環境を整え、タブレットやモニターでの会議によるペーパーレス化の推進、及び、業務の効率化
 - (3) リモートワークの推進
 - ・ZOOM等を活用したリモートワークの導入及び周辺機器の整備

【数値指数】

		希望の森			相談支援	
		施設入所	生活介護	短期入所	計画相談	各委託事業
利用者定員		40名	50名	5名	830件／年	—
1日平均利用者数		39名	47.5名	4.1名	—	—
稼働率		97.5%	95.0%	82.0%	—	—
総収入（千円）		100,458	161,238	10,173	14,000	7,200
職員数	正職員	22名			2名	
	パート	12名			3名	

施設名 : 児童養護施設ひまわりの家
児童心理治療施設ひまわりの家

【施設理念】

・ひまわりのように明るく まごころと わを大切にする りっぱな子どもを育てる

【経営方針】

・利用者の満足

私たちは子どもへのいかなる差別・虐待を許さず、権利侵害の防止に努めます。そして家庭的な養育環境である小規模グループケアを推進し、よりきめ細やかな支援により、児童の利益を最優先した養育を行います。

・職員の満足

福祉活動の財産は人であるとの考えに基づき、養育・支援の質の向上に向け、施設内外の研修により、知識や援助技術の向上を図るとともに資格取得に努めます。

・経営の満足

時代や環境の変化に対応し、安定的・効率的な施設経営を目指します。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

(1) 子どもの人権尊重を第一とし、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。

(2) 社会的養護の必要な児童への理解を深め、地域に開かれた施設にする。

2. 利用者と家族の幸せ

(1) 多様なネットワークを構築し、福祉ニーズやライフステージの変化に対応する。

(2) 相談体制を整え、アドミッションケア、インケア、リービングケア、アフターケアの充実を図る。

3. サービスの質の向上と標準化

(1) 私たちは、最良の養育実践を行うために専門的知識の習得や技術の向上に努めます。

4. 職員の充実

(1) 働きやすく、働きがいのある職場づくりを行い、福祉人材の育成と確保に努める。

5. 財務の健全性

(1) 適正な人員配置やコスト削減に努め、利用者及び経営の満足度を高める。

【数値指数】

	児童養護	児童心理
利用者定員	20名	10名
1日平均利用者数	18名	7名
利用者目標	20名	7名
稼働率	90.0%	70.0%
総収入(千円)	133,790	54,770
職員数(正職員)	17名(兼務5名)	12名(兼務5名)
(パート)	4名(兼務2名)	3名(兼務2名)

施設名 : うわまち未来こども園

【施設理念】

- ・一人ひとりが輝き、“生きる力”を培う。

【經營方針】

うわまち未来こども園

1. 体験活動や交流を通して、子どもの主体性を育み、柔軟なところとからだを育てる。
2. 一人ひとりのところにより添い、自己肯定感を育む。
3. 一人ひとりの特性や発達にそくした養護と教育を一体的におこなう。
4. 職員のスキルアップと、保育の質の向上を目指して、園内外研修や自己研鑽に努める。

放課後児童クラブ：なかよしクラブ

1. 児童一人ひとりを大切に、保護者、地域から信頼される運営に努める。
2. 子どもたちの健やかな成長を願い、保護者・地域の子育て支援に努める。

【事業計画】

1. 地域オンラインワン
 - (1) 子どもの最善の利益を考慮し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSの更なる理解、浸透を図り共通理解に努める。
 - (2) ホームページ等を利用して、保育の独自性や専門性の発信に努め、積極的に子育て支援に努める。
 - (3) 防災、危機管理対応マニュアルの見直しを行い実効性のあるものとし、災害時、地域とつながるネットワークづくりに努める。
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) 保護者のニーズを把握し、保護者との信頼関係を築き、安心・安全な環境の確立に努める。
 - (2) ヒヤリハットの意識向上を図る為に、様々な研修を実施し事故防止に関する意識改革を行なう。
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) 資格取得を支援し、専門性を高めるための研修への積極的な参加を促しスキルアップを図ることで次世代への人材育成に努める。
 - (2) 保育マニュアルの見直しや園内研修などを通して、保育の質の向上と、個別のスキルアップを図る。
4. 職員の充実
 - (1) 時間外勤務の適切な管理、休憩時間の確保、有休の取得率の向上等、やりがいをもって働き続けられる職場作りを目指す。
 - (2) 職場内での報連相やコミュニケーションを円滑にし、風通しの良い職場環境を整え、メンタルヘルス対策に努める。
5. 財務の健全化
 - (1) 園児数の動向や収支状況を的確にとらえ、安定した経営・運営が行われるように努める。
 - (2) 早めの修繕を心がけ、長期的な整備計画に基づき快適な保育環境を整え、経営の安定に努める。

【数值指標】

利用者数	定員	1 6 5 名	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計
	園児入所率 9 2 . 1 %	児 童 数 (4 / 1 現 在)	4 名	2 2 名	2 3 名	3 1 名	3 5 名	3 7 名	1 5 2 名
	特別保育	年間利用 延人数	病児保育（体調不良型）						1 2 0 名
			一時預かり保育						3 0 0 名
			放課後児童クラブ 4 3 名（なかよしクラブ）						1 2 , 0 0 0 名
	職員数	正職員	2 1 名（育休 2 名含む）						
パート		2 9 名（放課後児童クラブ 1 1 名含む）							
総収入（千円）			172, 488						

施設名： 中川保育園

【施設理念】

- ・一人ひとりの子どもの思いを受け止め、様々な体験や人とのかかわりの中で、生きる力を培う。

【經營方針】

中川保育園

1. 地域のニーズ把握に努め、保育の充実を図ることで、信頼される保育園を目指す。
2. 地域性を活かし、郷土文化の伝承やわらべうた、栽培や調理体験をもとにした食育等、様々な経験を通して心豊かな子どもの育成に努める。
3. 園内外の研修への参加や資格取得等の自己研鑽に努め、保育の質や職員の資質向上を図る。

放課後児童クラブ：ななほし中川

- 子ども一人一人を大切に、保護者・地域から信頼される運営に努める。
- 子どもたちの健やかな成長を願い、保護者・地域の子育て支援に努める。

【事業計画】

1. 地域オンラインワン
 - (1) 法人や中川保育園の基本理念を明示し、園児・保護者・地域との信頼関係を築くと共に、人権意識の高い人材の育成に努める。
 - (2) 地域の子育て支援の窓口としての役割を果たし、信頼され安心される保育園を目指すとともにホームページなどの情報発信を定期的に行い、保護者、地域の方々への理解度を高めていく。
 - (3) 災害や感染症拡大等に備え、防災、事業継続計画、危機管理対応マニュアルの見直しを行い、地域とつながるネットワークづくりに努める。
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) 保護者行事後の保護者からの様々な声をもとにニーズを把握して、保育サービスの維持・向上を目指す。
 - (2) 様々なリスクマネジメントの研修を実施して、より安心・安全な保育環境作りに努める。
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) 個々のスキルアップを図るため、専門研修会などに参加し、職員の資質向上に努める。
 - (2) 保育業務マニュアルの見直しや園内研修などを通して、サービスの質の向上と標準化を図る。
4. 職員の充実
 - (1) 職員間の報連相やコミュニケーションを円滑にし、働きやすい職場環境作り（メンタルヘルスケアや円滑な人間関係など）に努めるとともに、OJTリーダーを中心として人材育成に努める。
 - (2) 行事内容の見直しや業務改善を行い、時間外労働の削減、有給休暇の取得率向上を図る。
5. 財務の健全化
 - (1) 修繕や施設設備の確認を行い、適切で安全な保育環境を維持する。
 - (2) 保護者からのニーズを把握して、事業内容の見直しや検討を行い、反映していく。

【数值指標】

利用者数	定員	60名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 95.0%	児童数 (4/1現在)	0名	3名	9名	14名	16名	15名	57名
	特別保育	年間利用延人数	放課後児童クラブ(ななほし中川)45名						13,500名
職員数		正職員	10名(育休1名含む)						
		パート	18名(放課後児童クラブ10名含む)						
総収入(千円)			72,587						

施設名 : 田之筋保育園

【施設理念】

- ・自然の中で、一人ひとりが輝き、生き抜く力の基礎を培う。

【經營方針】

- ・自然豊かな環境を生かした遊びや実体験を通した保育の中で好奇心・探究心・思考力を育て、心身共にたくましい子どもに育つよう努める。
- ・園庭の全面芝生化の継続により、子ども達が安心して遊べる環境作りに努める。
- ・地域の中の保育園として、地域の方との交流や連携を深め、自分らしさを表現することで「人と関わる力」の基礎を育てる。
- ・園内外の研修や資格取得等の自己研鑽に努め、職員のスキルアップと保育の質の向上を図る。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン
 - (1) 法人の基本理念、園の保育理念の基、園児や保護者、地域との信頼関係を築き、安心・安全な環境の確立を図る。
 - (2) 災害や感染症拡大等に備え、事業継続計画や防災・危機管理マニュアル等の見直しを行い、地域とつながり支え合うネットワーク作りを行う。
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) 保護者や地域の声を聞きながら、保育サービスの維持・向上及び安心・安全な保育環境作りに努める。
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) 専門的な研修会に積極的に参加したり、資格取得を支援することで、職員のスキルアップを図る。
 - (2) 保育マニュアルの見直しや園内研修等を通して、保育の質の向上を図る。
4. 職員の充実
 - (1) 時間外労働の削減と有給休暇・休憩時間の確保等が出来る体制を整え、働きやすい職場作りに努める。
 - (2) コミュニケーションを円滑にし、職員一人ひとりのメンタルヘルス対策に努め、風通しの良い職場環境に努める。
5. 財務の健全化
 - (1) 施設、設備整備の確認を行い、適切な園の環境を維持していく。
 - (2) 施設の老朽化に伴い、早めに修繕等を検討し、計画的に施設管理を行ない、適切な園の環境の維持と経営の安定に努める。

【数值指数】

利用者数	定員	50名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 92.0%	児童数 (4/1現在)	0名	6名	6名	10名	12名	12名	46名
職員数		正職員	8名						
		パート	6名						
総収入(千円)			67,769						

施設名 : 下宇和保育園

【施設理念】

- ・豊かな自然体験や、さまざまな人とのかかわりを通して「生きる力」の基礎を培う。

【經營方針】

下宇和保育園

- ・地域に根ざした保育園として、保護者や未就学児親子の子育て支援を行い、専門機関としての保育サービスを目指す。
- ・老人クラブや地域のボランティア・小学生等多様な人との触合いを通して、人と関わる力を育てる。
- ・異年齢児とのかかわりを大切にし、自然の中での遊びや法華津峠や高森山登山などの実体験を通じて、強い心・やさしい気持ち・元気な身体を育てる。

放課後児童クラブ：明下田クラブ

- ・共働きや一人親家族の児童に対して、放課後や長期休業・学校休業日に、安全で充実した生活を送ることができるように努める。
- ・子どもたちの健やかな成長を願い、保護者・地域の子育て支援に努める。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

- (1) 地元の地域開発協議会、社会福祉協議会、公民館活動との連携強化に努め、地域ニーズの把握に努め、行事に積極的に参加し、地域と共に歩み頼られる施設づくりを推進していく。
- (2) 災害時に備え、継続計画やマニュアルの見直しを行い、地域とつながり支え合える体制を作る。

2. 利用者と家族の幸せ

- (1) 地域における子育て支援の窓口として、関係機関と連携を取りながらサービスの提供を行う。
- (2) 保護者との連携を密にし、意見やアンケートで得た評価内容を検討し、より質の高い保育の実施や子どもたちの安心安全な環境を整えていくことに努める。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) 定期的なマニュアルの見直しを行い、サービスの標準化を図る。
- (2) 各種研修会に参加し、スキルアップを図り、実践に繋げる。

4. 職員の充実

- (1) 職員が働きやすい職場となるよう、コミュニケーションを円滑にし、時間外労働の削減・有給休暇の取得がしやすい体制作りを図っていく。

5. 財務の健全化

- (1) 地域の出生状況やニーズ・園の収支状況を把握し適切な保育環境を維持し安定した経営に努める。

【数值指数】

利用者数	定員	40名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 95.0%	児童数 (4/1現在)	3名	6名	7名	9名	3名	10名	38名
	特別保育	年間利用	放課後児童クラブ（明下田クラブ）23名					6, 325名	
職員数		正職員	8名						
		パート	9名（放課後児童クラブ6名含む）						
総収入（千円）			68,463						

施設名：明間保育園（下宇和保育園分園）

【施設理念】

- ・豊かな自然と地域の人たちとの関わりの中で、様々な体験を通し「生きる力」を育む。

【經營方針】

- ・地域に根差した保育園として子育て支援を行い、安心安全な環境を整え保育サービスを提供する。
- ・地域の人や小学生等多様な人との触れ合いを通して「人と関わる力」を育てる。
- ・異年齢児とのかかわりを大切に、山の広場や自然の中での遊びなどの実体験を通じて、豊かな感性を養い心身ともにたくましい子どもに育つように努める。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

- (1) 地域ニーズの把握に努め、行事に積極的に参加し、地域と共に歩む施設づくりを推進していく。
- (2) 災害や感染症拡大等に備え、継続計画やマニュアルの見直しを行い、地域とのつながり支え合える体制を作る。

2. 利用者と家族の幸せ

- (1) 保護者からの意見やアンケートで得た評価内容を検討し、より質の高い保育を実施していく。
- (2) 保護者会との連携を密にし、施設と一体となって子どもたちの安心安全な保育環境を整えていく。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) 充実したHPの作成に努め、子どもたちの様子、施設の様々な情報を、保護者や地域に発信する。
- (2) 研修会に参加し、スキルアップを図り、実践に繋げる。

4. 職員の充実

- (1) 職員が働きやすい職場となるよう、コミュニケーションを円滑にし、時間外労働の削減・有給休暇の取得がしやすい体制作りを図っていく。
- (2) 分園として、本園との連携を密にする。

5. 財務の健全化

- (1) 地域の出生状況やニーズ・待機児童・園の収支状況を把握し、適切な保育環境を維持して安定した経営に努める。

【数值指数】

利用者数	定員	20名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 60.0%	児童数 (4/1現在)	0名	3名	3名	3名	3名	0名	12名
職員数		正職員	5名(育休1名含む)						
		パート	1名						
総収入(千円)			24,079						

施設名： 宇和保育園

【施設理念】

- ・乳幼児の最善の利益を考慮する。
- ・生活の場としてふさわしい安心・安全な保育環境を増進する。
- ・家庭や地域社会と連携を図り、地域の子育て支援の拠点としての機能を果たす。

【經營方針】

宇和保育園

1. 子どもの状況や発達過程を踏まえて、心身共に健全に育つよう環境の中で養護及び教育を一体的に行い「生きる力」の基礎を培う。
2. 地域の人との交流を通して人とのかかわりや様々な実体験により、豊かな心と逞しい身体を育成する。
3. 職員は県内外の専門研修を受講し知識・技能を高め、保育の質の維持向上に努める。

一時預かり保育

1. 各家庭の様々なニーズに対応し、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮して柔軟な保育をする。

地域子育て支援センター

1. 地域の子育て家庭の育児不安を和らげ、安心して気持ちよく利用できる環境づくりをする。

放課後児童クラブ：トトロクラブ

1. 共働きや一人親家族の児童に対して、放課後や長期休業・学校休業日に安全で充実した生活を送ることができるように努める。
2. 子どもたちの健やかな成長を願い、保護者・地域の子育て支援に努める。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

- (1) 法人の基本理念、園の保育理念のもと安心、安全な保育環境を整備し、園児や保護者、地域との信頼関係と連携を深めていく。
- (2) ホームページ等を利用し、情報発信を定期的におこない保護者・地域の方々の園への理解度を高めていく。
- (3) 災害に備え、防災・危機管理マニュアルの見直しを行い、地域とつながるネットワーク作りに努める。

2. 利用者と家族の幸せ

- (1) ヒヤリハット（気付き）の意識向上と全体への周知を心がけ、安心・安全な環境を整えていく。
- (2) 地域における子育て支援の窓口として、利用者のニーズ把握に努め、関係機関と連携をとりながら地域に密着したサービスの提供と、利用者満足度向上を図る。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) 質の高い保育を提供できるように、職員会議等を利用し、マニュアルの読み合わせや、見直しをおこないサービスの標準化を図る。
- (2) 園内研修、専門研修会等への参加を促進し、個別のスキルアップを図り、全体的な底上げへとつなげる。

4. 職員の充実

- (1) 時間外労働の削減と有給休暇の取得が更に向上するよう工夫をし、魅力ある職場環境づくりを行う。
- (2) 話しやすい職場環境をつくり、メンタルヘルス対策に努める。

5. 財務の健全化

- (1) 地域の出生状況や、保護者、地域のニーズを把握し安定した経営に努める。
- (2) 施設の老朽化にともない、早めに修繕等を検討し計画的に施設管理を行い、安全な環境維持と経営の安定に努める。

【施設整備】

- ・砂場整備

【数值指数】

利用者数	定員	1 2 0 名	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計	
	園児入所率 9 8 . 3 %	児童数 (4 / 1 現在)	6 名	1 1 名	2 2 名	3 0 名	2 4 名	2 5 名	1 1 8 名	
		年間利用 延人数	夜間延長保育							3 , 0 0 0 名
			一時預かり保育							4 0 0 名
			子育て支援センター							3 , 0 0 0 名
	放課後児童クラブ（トトロクラブ）							6 5 0 名		
	職員数	正職員	1 8 名（育休 2 名含む）							
パート		2 7 名（放課後児童クラブ 8 名含む）								
総収入（千円）			142, 123							

施設名：石城保育園

【施設理念】

- ・豊かな自然と地域の人とのかかわりの中で、一人ひとりが輝き『生きる力』を培う。

【經營方針】

- ・様々な体験や地域の人たちとのかかわりの中で、豊かな心や逞しい体を育む。
- ・一人ひとりの発達と年齢に応じた保育を行い、主体的・自主的に遊ぶことを大切にする。
- ・地域の状況や保護者のニーズを把握し、経営・運営に反映するように努める。
- ・地域の中の施設として、地域との交流や連携を継続していく。
- ・職員のスキルアップと職員相互の連携により、保育の質の維持・向上を図る。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

- (1) 子どもの最善の利益を考慮し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。また、園児や保護者との信頼関係を築き、安心・安全な環境の確立と地域の福祉サービスの拠点となるように努める。
- (2) 災害や感染症拡大等に備え、事業継続計画や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、地域とつながり支え合うネットワーク作りに努める。
- (3) 法人設立50周年の節目にあたり「地域と共に50年そして未来へ」のもと、更なる地域福祉の向上に寄与していく。

2. 利用者と家族の幸せ

- (1) 地域における子育て支援の窓口として、関係機関と連携を取りながら地域に密着したサービスの提供ができるようにする。
- (2) 保護者アンケートを活かし、保育サービスの維持・向上及び安心・安全な保育環境を提供する。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) 定期的なマニュアルの見直しをおこない、サービスの標準化を図る。また、専門研修会や、全国規模の研修会の参加を推進し、個別のスキルアップを図り、全体的な底上げへとつなげる。

4. 職員の充実

- (1) 時間外労働の削減と、有給休暇の取得率の向上ができる体制を構築し、魅力ある職場環境をつくり人材確保につなげる。また、OJT委員会を中心に現場での職員の育成に努める。
- (2) 相談しやすい、風通しの良い職場環境づくりに努め、職員一人ひとりのメンタルヘルス対策に努める。

5. 財務の健全性

- (1) 地域の出生状況や保護者・地域のニーズを把握し、事業内容等に反映させていくと共に、安定した経営に努める。
- (2) 将来を見据えた施設整備や設備整備計画を策定し、適切な園の環境を維持していくよう努める。

【数值指標】

利用者数	定員	4 5 名	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
	園児入所率 93.3%	児童数 (4 / 1 現在)	0 名	1 0 名	6 名	1 2 名	6 名	8 名	4 2 名
職員数		正職員	8 名						
		パート	3 名						
総収入 (千円)			56,435						

施設名 : 多田保育園

【施設理念】

- ・ 様々な体験や友だち、地域の人々との関わりの中で「生きる力」の基礎を培う。

【経営方針】

- ・施設理念・方針に基づき、子ども達が安心して自分らしく主体的な行動で過ごせる為に、子どもを中心に保育のあり方を考え、職員のスキルアップと職員相互の連携により保育の質の確保・維持・向上を目指します。
- ・保護者や地域の人々と共に子どもの育ちを支えていくことができるよう、様々な地域との交流や連携を継続し、情報発信を行い、地域ニーズを的確にとらえ、地域に開かれ信頼され、愛される保育園を目指します。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

- (1) 子どもの最善の利益を考慮し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図ります。
- (2) 災害や感染症拡大等に備え、事業継続計画や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、地域とつながり支え合うネットワーク作りに努めます。

2. 利用者と家族の幸せ

- (1) 子どもの思い、保護者の思いを大切に、保護者アンケートを活かし、保育サービスの維持・向上・及び安心・安全な保育環境を提供することで、安心と信頼、期待感を持っていただけるよう取り組みます。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) 定期的なマニュアルの見直しをおこない、サービスの標準化を図ります。
- (2) 専門研修会や、全国規模の研修会の参加を推進し、個別のスキルアップを図り、全体的な底上げへとつなげます。

4. 職員の充実

- (1) 休憩時間や有給休暇の取得ができる体制を構築します。
- (2) 職員間での協力、業務内容の見直し等を行い時間外労働の削減を目指します。
- (3) 相談しやすく働きやすい職場環境を作り、個々のメンタルヘルス対策に努めます。
- (4) OJT委員を中心に現場での職員の育成に努めます。

5. 財務の健全化

- (1) 園児数の動向や、収支状況を把握し、適切な保育環境を維持しながら、安定した経営に努めます。
- (2) 将来を見据えた施設整備や設備整備計画を策定し、適切な園の環境を維持していくよう努めます。
- (3) 地域の状況や、保護者のニーズを把握し事業経営・運営に反映させ、安定した経営に努めます。

【数值指数】

利用者数	定員	30名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 83.3%	児童数 (4/1現在)	1名	4名	8名	6名	4名	2名	25名
職員数		正職数	6名						
		パート	2名						
総収入(千円)			44,515						

施設名：高山保育園

【施設理念】

- ・豊かな自然と地域の人とのかかわりの中で、一人ひとりが輝き『生きる力』を育む。

【經營方針】

- ・地域の豊かな自然を活かし、様々な体験や地域の人たちとのかかわりの中で、豊かな心やたくましい体を育む。
- ・一人ひとりの個性や発達に応じた保育を行なうとともに自己肯定感を育む。
- ・地域の状況や保護者のニーズを把握し、経営・運営に反映するように努める。
- ・地域の社会資源の一つとして様々な、地域との交流や連携を継続していく。
- ・職員のスキルアップと職員相互の連携により、保育の質の維持・向上を図る。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

- (1) 子どもの最善の利益を考慮し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSを理解し、施設運営に反映させる。
- (2) 災害や感染症拡大等に備え事業継続計画（BCP）及び、防災、危機管理マニュアルの見直しを行い、実効性のあるものにするとともに、緊急時への備えを定期的に職員間で周知する。
- (3) 地域の関係機関、団体との連携強化に努め、地域に根ざした保育園を目指す。

2. 利用者と保護者の幸せ

- (1) 園児、保護者との信頼関係を深め、運営に安心感をもっていただけるよう努める。
- (2) 自己評価と保護者のアンケートで自園の評価につなげ、保育のさらなる向上を図る。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) 専門分野における知識・技術を高め、より質の高い保育及びサービスの提供に努める。
- (2) 全職員が同じ方向に向かってサービス提供ができるよう、保育の質の向上に努める。

4. 職員の充実

- (1) 人事制度と評価制度の理解や定着を図り、職員の働きがいや喜びにつなげる。
- (2) 時間外労働の削減と休憩時間や有給休暇の取得ができる体制作りの構築をする。

5. 財務の健全化

- (1) 園児数の動向や収支状況を把握し、適切な保育環境を維持しながら、安定した経営に努める。

【数值指标】

利用者数	定員	20名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 75.0%	児童数 (4/1現在)	0名	2名	4名	2名	3名	4名	15名
職員数		正職員	6名						
		パート	2名						
総収入(千円)			44,462						